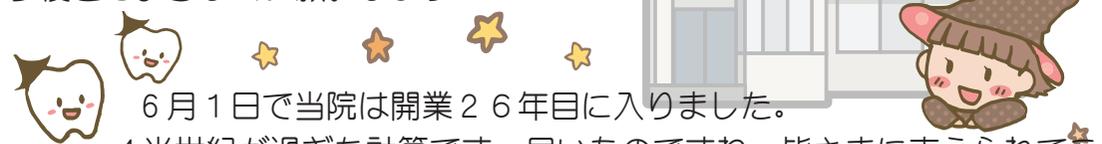


まじょのしんぶん



たむら歯科医院 開業25周年

6月4日にホテル花城をお借りしてスタッフ全員で開業記念をお祝いしました。当院税理士の鈴木さんにもお越し頂き、ランチを食べながら経営学についても勉強をしました。治療の材料や器械はどんどん新しい物が出てきます。時代の進化と共にたむら歯科医院も良いものを取り入れて皆さまの健康づくりのお手伝いができればとスタッフ一同日々勉強していきます。今後ともよろしくお祈りいたします。



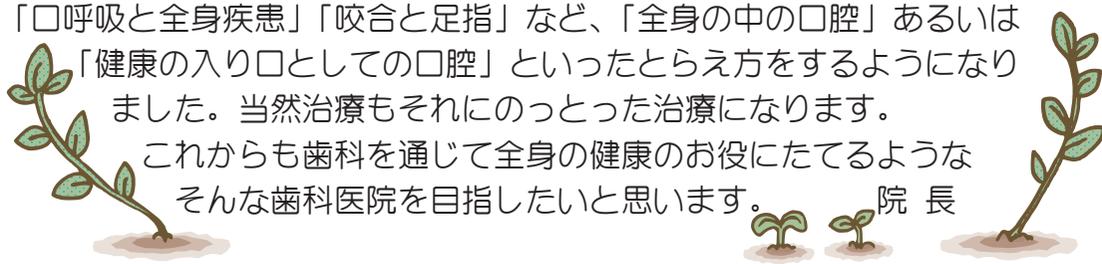
6月1日で当院は開業26年目に入りました。

4半世紀が過ぎた計算です。早いものですね。皆さまに支えられてここまでやってこられたと、患者さん方に感謝の気持ちでいっぱいです。開業当時は一歳の長男1人だけだったのが現在5人となりました。駐車場の雪かき時など1人でしなければいけないこともあったのが、今はしっかりと手伝ってもらえるようになりました。時の流れを感じます。

考えてみると「開業して何をやりたいか」ということがずいぶん変わってきた気がします。私が大学に入った頃は「むし歯が毎年増え続けている。もっと歯医者を増やさなければ…」と言われていた時代です。それが卒業するころにはむし歯は年々減り始め、「もうむし歯の時代ではない。これからは歯槽膿漏を治していくことがメインになる。」などと言われたものでした。

そんな中、25年前は何をやるうとしていたのかと考えると「とにかく歯槽膿漏の治療をして……」といった漠然とした気持ちだけだったのかなという気がします。それが現在になると「ほんだ式口臭治療」「歯槽膿漏と糖尿病」「口呼吸と全身疾患」「咬合と足指」など、「全身の中の口腔」あるいは「健康の入り口としての口腔」といったとらえ方をするようになりました。当然治療もそれにのっとった治療になります。

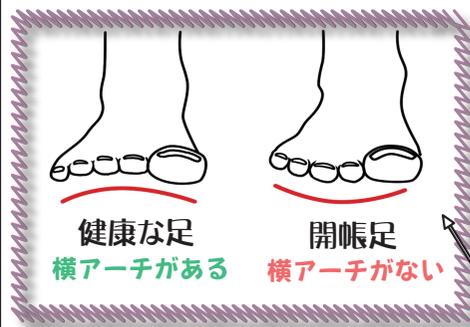
これからも歯科を通じて全身の健康のお役にたてるようなそんな歯科医院を目指したいと思ひます。 院長



の 話 ~開帳足の話~

夏になると素足になる機会も多くなります。その時に気になるのが足裏のタコです。

開帳足という言葉を知ったことありますか。足裏には骨を筋肉で持ち上げるようにして3つのアーチがあります。そのうちの1つに親指の根元から小指の根元にかけて横アーチがあります。前にすすむ力を生み出すこのアーチがつぶれて扁平になった状態を『開帳足』と呼びます。横アーチが崩れると体が前後に揺れ、つまずきやすくなります。そして、この開帳足の方には特徴があります。それは、足の人差し指と中指の付け根付近のタコです。アーチが崩れているため地面により接する箇所にタコができる



のです。足指が動かなくなると足の筋肉が落ちアーチが崩れるのです。足は体の土台です。正確に足指が使われアーチが保たれば土台がしっかりしてきて身体のバランスも整ってきます。歯のメンテナンスとともに足(土台)のメンテナンスもしてみましょう。



あとがき

5年前、開業20周年を期に始めた「まじょのしんぶん」ですが、25周年の話が出来たようになりました。時間が経つ早さを感じつつ、ここまでやってこられたのも読んでくださる方がいらっしゃるからです。ありがとうございます。これからも歯科に関する様々な事を皆さまに発信していけるよう作っていきますので、また手にとっていただけると幸いです。

8月	3日(木)	休診
	9日(水)	午後休診
	14日(月)	休診
	15日(火)	休診
	16日(水)	休診
9月	2日(土)	休診
	7日(木)	午後休診
	14日(木)	午後休診
	21日(木)	午後休診
	28日(木)	午後休診

予定は変更になる場合がございます。HPにも掲載しておりますので、そちらでも、ご確認ください。

発行 平成29年8月1日
 たむら歯科医院
 岩手県花巻市南城 27-13
 担当: 千田 デザイン: 菊池